

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 23 日 更新

事務事業名		ごみ収集事業		☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課	担当者名	小野 幸介
	施策の柱	62	ごみの発生抑制とリサイクルの推進	所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10188	根拠法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 合志市廃棄物の処理及び清掃に関する
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始		事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	【家庭系一般廃棄物処理】家庭から排出されるごみを収集し、一部事務組合の処理施設で適正に処理する。 具体的な内容：地域住民へごみの分別ルールの周知徹底、ごみに関するトラブルの対応、ごみ収集に必要な業務の民間委託、資源物の持ち去り行為に対する取締り、電動式生ごみ処理機の貸し出し等 【事業系一般廃棄物処理】事業所から出る一般廃棄物について、処理の方法等の周知・指導等を行う。 具体的な内容：各事業所から排出される一般廃棄物の量を管理し、適時ごみ減量への助言・指導の実施
【業務の流れ】	ごみ分別に関する周知冊子等の作成・配布(ごみ収集予定表・ごみの分け方出し方)に関する事務(施行伺・入札・契約・内容校正・納品・支払・配布) 収集運搬業務委託(民間2社)に関する事務(施行伺・見積徴収・契約・業務実施・委託費支払) ごみに関するトラブルの対応、ごみ減量に関する取り組み(生ごみ処理機の貸し出し)受付・貸出・アンケート集計 資源物の持ち去り行為に対する取締り(早朝に持ち去りパトロールの実施、行為者に対して直接指導) 事業系一般廃棄物の管理(収集運搬許可業者からの月報による事業所毎のごみ量の把握。随時、事業所に対し分別等についての周知を図る)
【主な予算費目】	報酬、給料、職員手当、報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、公課費
【意見や要望】	・ごみ一時保管所に違反ごみが投棄されるケースがあり、地域から再分別等の対応が大変という声が上がっている。 ・事業所の廃棄物収集運搬許可業者より、事業所の分別が徹底されていないが、仕事を請けている立場上指導が難しいという相談があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 業者選定、見積徴収、業者決定、契約事務、ごみ収集運搬量の照合、支払事務を行った。廃棄物収集用箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油の巡回整理を行った。資源物持ち去り禁止看板を各ごみ一時保管所に掲示し啓発及び持ち去りパトロールを実施した。ごみ収集予定表を作成し、市民に分別等の周知を行った。黒石原区役員やさわやかデイサービス利用者を対象にしたごみ分別についての出前講座を実施した。業務推進協同組合研修センターで外国人実習生へ向けたごみ分別等の出前講座を実施した。(令和5年度ごみ収集量(市収集運搬分)は12,031t、1人1日あたり507gだった)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 違反ごみや分別誤りが依然として発生しているため、引き続き周知を行い適正なごみ分別・収集運搬を図る。併せてごみの再資源化の推進に繋げる。令和6年度より「10188ごみ収集事業(統合親・名称変更)」「11473ごみ一時保管所整備費補助事業」を「10188ごみ収集運搬関係事業」に統合予定である。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 支払事務件数	件	10188ごみ収集事業・11473ごみ一時保管所整備費補助事業を10188ごみ収集運搬関係事業へ統合することに伴う増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等ごみ		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) t
→ イ		→ ア: ごみの量
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正に回収する		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) t
→ イ		→ ア: 適正に回収されたごみの量
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現することに繋がるため、成果指標を「適正に回収されたごみの量」とした。		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア イ	件	64	64	64	64	64	64	64	64	
② 対象指標	ア イ	t	15,113	14,882	14,530	14,459	14,602	14,674	14,746	14,818	
③ 成果指標	ア イ	t	15,113	14,882	14,530	14,459	14,602	14,674	14,746	14,818	
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	3,000							
		都道府県支出金	千円				250				
		地方債	千円								
		その他	千円	68,239	67,373	74,909	65,075	68,350	65,325	65,825	66,325
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	111,858	114,790	121,575	117,311	138,881	159,730	163,030	166,330
	(A) 事業費計	千円	183,097	182,163	196,484	182,636	207,231	225,055	228,855	232,655	
		(A)のうち指定経費	千円	28	0	81	73	103	1,836	1,836	1,836
		(A)のうち時間外、特勤	千円	28	0	81	73	103	77	77	77
	人 件 費	正規職員従事人数	人	5	6	7	7	13	13	13	13
		延べ業務時間	時間	1,370	1,444	1,600	1,528	2,100	2,100	2,100	2,100
		(B)人件費計	千円	5,356	5,495	6,374	5,564	8,366	8,366	8,366	8,366
	トータルコスト(A)+(B)	千円	188,453	187,658	202,858	188,200	215,597	233,421	237,221	241,021	

事務事業名	ごみ収集事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 令和5年度は、14,459 t（うち、12,031tを市業務委託により収集）のごみ排出があった。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所（ごみステーション）から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表の作成、外国人に向けた簡易版ごみの分け方出し方作成など、市民に対し分別の周知等も行った。今後も分別と再生資源化を徹底し、さらにリサイクルを進める。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ごみの分別に係る出前講座の実施、環境美化推進員によるごみ分別の指導、違反ごみの再分別指導・実践により、ごみが適正に回収できるようになる。 また、適正処理困難物は環境衛生課職員により適正により処理している。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 分別を徹底することにより、さらに資源物リサイクルを進められる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より「10188ごみ収集事業（統合親・名称変更）」「11473ごみ一時保管所整備費補助事業」を「10188ごみ収集運搬関係事業」に統合予定である。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 今後も、市の人口増に伴いごみの量も増加する。分別を徹底することにより削減に努める。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 業者選定等の事務やごみ排出に関する苦情もあり、正規職員以外では難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民のごみを収集するので公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、一般廃棄物の処理は市が行う事務であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

令和5年度は、14,459 t（うち、12,031tを市業務委託により収集）のごみ排出があった。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所（ごみステーション）から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表の作成、外国人に向けた簡易版ごみの分け方出し方作成など、市民に対し分別の周知等も行った。今後も分別と再生資源化を徹底し、さらにリサイクルを進める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 令和6年度より「10188ごみ収集事業(統合親・名称変更)」 「11473ごみ一時保管所整備費補助事業」を「10188ごみ収集運搬関係事業」に統合予定である。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												